



◀「タウン・ウォッチング」の様子(小松温芳図書館)



▶大保木地区連合自治会長の神野顕彰氏(写真右)を招いての台風21号被災経験講演

# ワークショップでまちづくり

## 「新西条市まちづくり懇話会」活動レポート

今、西条市では、今後10年間のまちづくりを進めるための指針となる、「総合計画」をつくらうとしています。この計画づくりのために、市民の皆さんが中心となった取り組みが進んでいます。

### 「新西条市まちづくり懇話会」誕生!

市では、「総合計画」をつくるにあたって、市民の皆さんのご意見やお考えを広くお聞きして、できるだけ計画に反映させていきたいと考えています。そこで誕生することになったのが「新西条市まちづくり懇話会」です。

「広報さいじょう」などでメンバーを募集したところ、旧2市2町の各地区から23人の方々がご応募くださいました。

### 見て聞いて、話し合っ て「まちづくり」を考える

昨年8月にスタートした懇話会ですが、メンバーの皆さんはご多忙の中、市内の公共施設などを見て回る「タウン・ウォッチング」を行ったり、講師の方を招いて講演会を開催したりするなど、積極的に活動をしています。

また、会合では「少子化と子育て支援」や「災害に強いまちづくり」など、まちづくりのさまざまなテーマについて、グループ別に議論をして結果を発表するワークショップ(※)の方法を使って熱心な話し合いを重ねています。さらに、会合は夜間に、旧2市2町の各地区で開催するなど、メンバーの皆さんが参加しやすいような工夫も

①各グループで話し合いをして...



### (※) ワークショップ

地域に関わる人が参加し、さまざまな共同作業を通じて創意工夫して、集団としての答えを探し出し、計画づくりなどを進めていく方法です。



②それぞれのメンバーの意見をまとめて...



③メンバー全員の前で発表します!

### 未来のまちづくりのために

しています。

「西条市が抱えている問題は、こういうことなのでは?」「それには、こうすればよいのでは?」—よりよい計画づくり、まちづくりをめざして、メンバーの皆さんの「思い」を交えた熱い議論は、今も続いています。

## 四国電力(株)から市へ、 道路用地を寄付していただきました

10月17日(月)に、四国電力(株)から道路用地を寄付していただきました。この用地は、昔、火力発電所の進入路として、また港新地地区への生活道路として整備された道路部分です。

今回で寄付いただいた道路用地については、今後街路事業等で改良を行い、伊予西条駅前から干拓地(工業団地・港新地地区)を結ぶ道路として、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

